

令和2年度 第2回たつの市行財政改革推進委員会

－ 会議録 －

日 時：令和3年2月26日（金）午前10時～午前11時

場 所：たつの市役所新館202・203会議室

出席者：委員11名、事務局

傍聴者：なし

1 会議内容

(1) あいさつ（市長、会長）

(2) 議事

①第1回たつの市行財政改革推進委員会委員意見に係る取組方針について

②令和2年度の行財政改革の取組状況について

③令和3年度当初予算の概要について

【協議事項①②】 第1回たつの市行財政改革推進委員会委員意見に係る取組方針について（資料①） 令和2年度の行財政改革の取組状況について（資料②）	
事務局より、取組状況等を説明し、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。	
委員	現在、幼稚園・小学校の統廃合が進んでおり、今回は室津小学校が統合されることになりました。今後も統合が進んでいくと予測されますが、人口統計が平成25年度と平成30年度に将来の推計人口が発表されています。 それを基に、色々なことをやっているとありますが、その推計と今のたつの市の推計がどう変わってきて、今後の行政改革や他の分野にどう反映されていくのか、想定を教えてください。
事務局	行政が投資を行う際は、将来の人口規模を見据えて行います。 現在、本市には人口ビジョンがあり、平成27年度に作成しました。この人口ビジョンについては、現時点では古い情報になってきており、国も5年毎に国勢調査を行い、その都度、そこから算出した推計人口を出しています。それを一番新しい状態にした上で、今後の投資を考えたいということで、令和3年度に人口ビジョン（人口推計）の更新を考えています。 また、人口に見合った行政サービスのあり方も擦り合わせた上で、行っていこうとしています。
委員	それが10年くらい前から始まった新しい行革プランの時の人口推計と比べて現実はどう程度の格差がありますか。
事務局	今出ている数字で言うと、国が公表した平成30年度の数字と平成25年度の数字を比べると、平成25年公表の2060年人口が約49,000人で、平成30年公表の2060年人口が約40,000人となり、約9,000人下振れています。
委員	2060年でそれだけしか減らないのですか。たつの市は毎年約600人減少していませんか。

事務局	毎年約600人程度減少しています。
事務局	<p>約9,000人という数字は、平成22年国調から推計した2060年の人口が約49,000人に対して、平成27年国調から推計した2060年の人口が約40,000人となり、その差が約9,000人ということです。</p> <p>平成27年国調の約77,000人から約37,000人減少するという推計が出ています。</p>
委員	市の推計はどうなっていますか。
事務局	<p>2020年人口は、平成30年度の国の推計では、約74,000人で、実際は約76,000人なので、約2,000人のずれが出てきています。</p> <p>そのため、スタート地点を現状に合わせた上で、新しい推計をし、特に投資事業は考えていかなければならないと思うので、来年度、人口推計の見直しを行いたいと考えています。</p>
委員	<p>現在の下げ幅が鈍化しているということは、市の取組成果が出ているということで、そこをしっかりと押さえないと、ただ単に国がこれだけ減ったからと言って減らすのではなく、市が取組すればこれだけ鈍化しますというのを、アピールする必要があると思います。</p> <p>それと併せて、人口減少幅が地区によって格差が大きくなっていると思います。その辺りの対処の仕方については、現在、何校かの学校が統合の対象になっていますが、子どもの数が減っているので仕方ない部分ではありますが、同じことに成りかねない所が新たに出てくる可能性が、この5、6年先を見ても出てくると思います。</p> <p>地域による人口減少格差の広がりについて、地域によって対応を変えていかないといけない。ただ単に、この地域の人口が減ってきているので、縮小するというのではなく、急激に人口が減っている所とそうではない所によって、対応を変えていかないと、ただ見過ごしていくことにもなります。</p>
事務局	<p>各小学校単位で、平成27年度と令和元年度で人口比較すると、唯一人口が増えている地区が小宅地区で約105%、減少幅が大きい地区は室津地区以外で言うと、西栗栖地区、半田地区、河内地区になります。</p> <p>ご指摘のとおり、各地区で課題、産業等も違うので、地域に合わせた取り組みが必要になると考えています。</p>
委員	<p>対策をせず、成り行きに任せていくと、今後ますます人口減少が加速していくので、人口減少だから施設を縮小するという行革だけではなく、人口減少に歯止めをかける取組も併せて行っていただきたいと思います。</p> <p>市民ワークショップの説明の中で、施設の民間委託を行っていくべきという提案や図書館の多目的化を例とした提案の紹介がありましたが、今の状態の図書館で多目的化することができるでしょうか。機能が備わっているかと言われれば、そうではないと思います。</p> <p>1つ例を挙げると、伊丹市の図書館で、多目的化していて、避難所やコミュニティ拠点となる色々な機能を備え、様々な補助金を活用し建設されています。そうすると、今の施設を建て替えないといけないと思います。</p> <p>施設を減らすだけでなく、色々な機能を持たせるためには、それなりのものに</p>

	<p>作り替えていかないと、実際使い勝手が悪く、誰も利用しないということになります。</p> <p>市民ワークショップで提案された内容について、施設を集約化し、施設を建て替えていこう、新たなものを作っていこうという思いが、市でどこまであり、今後取り組んでいく予定がありますか。</p>
事務局	<p>提案のあった内容については、全職員で共有し、例えば図書館で言うと、複合化施設の事例も全国で散見されるようになってきていますが、逆に廃止する施設もあっての話になりますので、施設の耐用年数の問題等もあり、タイミングが合った時点で集約化するなど、長期的に考えていかないといけないと感じています。</p> <p>また、地域毎に人口増減の偏在が見られますので、そのことも含めて、総合的に考えていくこととなりますので、長期的な視野で取り組まざるを得ない課題と認識しています。</p>
委員	図書館の1日の利用者はどれくらいか。
事務局	令和元年度の1日当たりの図書貸出者は約100人/館です。図書を借りずに利用される方もいると思うので、これ以上の利用者ということになります。
委員	子どもたちに読み聞かせの事業もされていると思うので、利用者は多いと思います。
委員	ふるさと応援寄附金の実績について、大変好調な数値が出ていますが、たつの市の比較だけでなく、全国的な伸び率と比べた場合、どうでしょうか。
事務局	厳密なデータはありませんが、コロナ禍で緊急事態宣言が出たときに、インターネットの通販サイトの伸び率も約2.5～3倍になっていたもので、それから見ると同じような推移で全国的な増加基調に乗っていると考えています。
委員	取り寄せ商品全般のニーズが高まったのでしょうか。
事務局	一年前くらいに、トイレットペーパーの品薄報道があったかと思いますが、本市ふるさと納税においても、トイレットペーパーを取り扱っており、1日で約500件の申し込みがありました。
委員	それは一時的なものですね。
事務局	その例は一時的なものですが、トイレットペーパーは寄附件数の約40%を占めています。また、他で言うと素麺、米、焼き豚などの食品が上位を占めていますので、自家消費する品に流れたのかなと思います。
委員	牡蠣について、貝毒発生の出荷自主規制による影響はありましたか。
事務局	牡蠣については、前年度が約900件弱でしたが、今年度は現時点で昨年度を上回っていますので、貝毒の影響は回復したのではないかと思います。
委員	マイナンバーカードの取得を推進されていますが、現状はどのようになっていますか。
事務局	令和3年1月末時点で、約23,000人、約30%の方が申請されています。
事務局	マイナンバーカードを利用して、コンビニなどのマルチコピー機で住民票等が取得でき、また、説明にもありましたが、4月から手数料を300円から200円にしますので、取得されていない方は取得いただきますようお願いいたします。

<p>【協議事項③】 令和3年度当初予算の概要について（資料③）</p>	
<p>事務局より、令和3年度当初予算の概要を説明し、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。</p>	
委員	<p>小宅小学校についてですが、もうすぐ児童数が1,000人を超える見込みで、校舎の増築をしていただいています。一方で施設の老朽化が激しい状況です。</p> <p>補修費について、学校の規模に応じた予算配分等、どのような状況になりますか。</p>
事務局	<p>小学校をはじめ、中学校、幼・保・こども園について、まず、毎年夏に学校園長から各施設の補修要望を受けます。その要望を受け付けた後、各施設の所管課長、担当職員が現場確認し、学校園長に聞き取りし、お金があれば全てを補修すれば良いですが、教育委員会の中で優先順位を決めて、財政部局と予算折衝し、予算化されています。</p>
委員	<p>例えば、500人の学校と1,000人の学校で予算規模が違う、というわけでもないということですね。</p>
事務局	<p>修繕等に限ると、そういうことではないです。</p> <p>タブレットなどの学習機器などについては、生徒数に応じて予算化されています。また、先生の割合についても、市が単独で配置していますので、加配という形で生徒数に応じて配置している状況です。</p>
委員	<p>例えば、トイレのドアが閉まらない状況が放っておいたまま、ということがあり、先生に相談しても予算がないということを知るので、その辺はどうなっているのかと思います。</p>
事務局	<p>まず、優先するのは危険な箇所の修繕です。簡単な修繕は、すぐに対応していると聞いておりましたが、教育委員会の中で予算枠があるのでその中で、決めているものと思いますが、このことは教育委員会に伝えます。</p>
委員	<p>地方債残高が減っていることは喜ばしい事ですし、基金残高が増えていることも、喜ばしい事かなと数字上は思いますが、現在コロナ禍で、何年かに一度、突発的な危機的状況という中で、そのような時のために基金があると思います。今使わずしていつ使うのか、ということも言えると思います。</p> <p>将来、公共施設を建て替える時に基金がないといけない、ということも分かりますが、次のどんな危機があった時に基金を使うのか、ただ単に基金が増えたということを楽しむのもどうかなと思います。</p> <p>市民にとってプラスになるように考えないといけないと思いますが、基金取り崩しの基本的な考え方についてどうお考えですか。</p>
事務局	<p>基金の種類によって使い道があり、今回の新型コロナ対策については、財政調整基金を取り崩していきます。</p> <p>国からは新型コロナ対策のために、臨時交付金が約11億円入ってきましたが、それでは足りませんので、市としては、新型コロナ対策として、財政調整基金を約4億円取り崩して、市民の皆様を支援させていただいております。</p> <p>他市町と比べると、財政調整基金が少ない市町もあるので、比較することはできませんが、市としては、財政調整基金を取り崩して、しっかりと新型コロナ対</p>

	策が出来たものと考えております。
委員	<p>新型コロナ対策は財政調整基金を取り崩すということですが、基金の種類を見ていくと、増え続けている基金があります。財政調整基金は、国の指導であり増えすぎるといけないとのことで、他の基金に移し替えたということがありました。</p> <p>例えば、公共施設整備基金について、増えるのは良いことだが、どこまでを目標として増やすのか。種類によって、適切にいつ使う予定で、どのくらいの金額を目標としているのでしょうか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、財政調整基金については、貯めすぎると地方交付税に影響するかもしれないということで、平成30年度に公共施設整備基金に移し替えました。</p> <p>公共施設整備基金は、今後の学校修繕などに充てていかないといけませんので、しっかり貯めていかないといけないと考えています。また、財政調整基金については、何かに基づく目標金額の基準などはありませんが、市としては以前から約50億円は持っておきたいという考えで運営しております。</p> <p>また、公共施設整備基金については、学校等大きな施設の修繕を行う場合、国からの補助金が若干交付されますが、残りは市のお金で修繕しないといけないので、しっかり貯めておかないといけないと考えています。</p>
事務局	<p>地域振興基金の基金残高は、約39億9,200万円となっており、ほとんど数字が変わっていませんが、これは基金を定期預金し、利子を毎年の事業に充当する運用（果実運用型）をしていますので、紹介させていただきます。</p>
委員	<p>財政調整基金を公共施設整備基金に移し替えたようなことは、基金の種類を増やせば、それぞれの基金残高が圧縮されるので良いのではないかと思います。種類に制限はありますか。</p>
事務局	<p>各基金には、それぞれ使い道がありますので、使い道があれば基金を作ることには出来ますが、細かく分けて基金を作ると、それだけにしか使えなくなるので、例えば、公共施設整備基金のように、公共施設全般として基金を持っている方が色々なところで基金を使えるという考えを持っています。</p>